

研究交流

中国の研究機関との研究交流

Research Exchange

中国における代表的な研究機関である中国財政部財政科学研究院(Chinese Academy of Fiscal Sciences: CAFS)、中国社会科学院(Chinese Academy of Social Sciences: CASS)、国務院発展研究センター(Development Research Center of the State Council: DRC)、中国国際経済交流センター(China Center for International Economic Exchanges: CCIEE)等との間で、研究交流を行っています。



1. 第6回日中財政シンクタンクフォーラム

日程 2023年6月8日 於 東京

中国財政部の傘下にあるCAFSと、「持続可能な社会に向けた政策対応」をテーマに「日中財政シンクタンクフォーラム」を開催しました。

2. 中国主要研究機関等との意見交換

日程 2023年6月14～17日 於 中国(北京)

中国国家発展改革委員会(NDRC)、CCIEE、CAFS等を訪問し、中国経済の状況等について意見交換を行いました。

3. 国務院発展研究センターとの意見交換

日程 2023年5月22日 於 オンライン

研究交流活動として2018年4月からDRCと、「人口構成の変化のマクロ経済的帰結と財政の持続性」について共同研究を行ってきました。

2023年5月に、DRCとオンライン会合を開催し、双方の経済情勢や課題について意見交換を行いました。また、今後は双方が主催する会議等に呼び合う形式等により、研究交流を継続することでも同意しました。



日中韓3カ国ワークショップ

Research Exchange

財務総研は、アジアが共有する経済・財政上の課題について研究を行うことを目的に、中国社会科学院(Chinese Academy of Social Sciences: CASS)及び韓国対外経済政策研究院(Korea Institute for International Economic Policy: KIEP)と共同で、「日中韓3カ国ワークショップ」を実施しています。

第15回ワークショップ

日程 2022年11月17日 於 オンライン

- 第1セッション 多国間貿易協定
- 第2セッション 各国の財政状況



中国研究会

Research Exchange

中国の政治・経済等について調査研究を行うため、1993年から中国研究会を開催しております。

中国研究会

2022年10月13日(第28期 第1回)

- 「混迷する日米中関係の中で転換期を迎える中国経済」
- 「チャイナアセアンの衝撃(2022特別編)」

2022年12月23日(第28期 第2回)

- 「第20回党大会と当面のマクロ経済運営」
- 「中国共産党第20回党大会の評価と第3期習近平政権の展望」

2023年3月23日(第28期 第3回)

- 「中国デジタル経済の発展戦略とチャイナイノベーションの光と影」
- 「中国の農業・農村政策と食料安全保障」



インドの研究機関との研究交流

Research Exchange

インドにおける代表的な研究機関であるインド国際経済関係研究所(Indian Council for Research on International Economic Relations: ICRIER)、インド応用経済研究所(National Council of Applied Economic Research: NCAER)等との間で、研究交流を行っています。

PRI-ICRIER 共催ワークショップ

日程 2023年3月17日 於 オンライン

財務総研が開催するインドワークショップとの合同イベントとして開催し、ICRIER 所長・ミシュラ氏をはじめとしたICRIER 側の発表者から「Outlook for Indian Economy」及び「India - Japan Trade & FDI」をテーマとしたご講演をいただきました。



インドワークショップ

Research Exchange

財務省におけるインドの現状と政策等に対する認識を深めるために、2011年からインドワークショップを開催しています。

インドワークショップ

2022年12月7日(第12期 第1回)

- 「インドの経済・産業政策、FDI 動向、予算及び政策決定プロセス」
- 「バイオガス自動車燃料農村振興と気候変動への貢献」

2023年3月17日(第12期 第2回)

- 「Outlook for Indian Economy」
- 「India - Japan Trade & FDI」

2023年4月27日(第12期 第3回)

- 「インドの対外関係 2022-2023「グローバル・サウス」を中心に」
- 「デジタルインド～金融を具体例に～」



ASEAN 各国の財務省付属研究機関との研究交流 Research Exchange

財務総研では、ASEAN 各国の財務省付属研究機関との研究交流を実施しています。

ベトナム財政省財政研究所(NIF)との覚書の更新

財務総研は、2010年にNIFと締結した研究交流促進のための覚書(MOI)について、2022年6月10日付で更新しました。財務総研はこの覚書に基づき、NIF グエン所長を財務総研の国際会議に招待したほか(2023年6月)、NIFの代表団を財務総研に迎え意見交換会を実施するなど、密接な研究交流を続けています。



国際会議、シンポジウム

毎年、調査・研究活動の一環として、内外の研究者との意見交換を行うこと等を目的としたシンポジウムやコンファレンスを1年におおむね1~2回程度開催しています。

例えば、2015(平成27)年度から、国際通貨基金(IMF)及びアジア開発銀行研究所(ADB)と連携して、国際コンファレンス「The Eighth Tokyo Fiscal Forum – Building Resilience and Reshaping Fiscal Policy in Asia and the Pacific Region –」を2023年6月に開催しました。



ASEAN ワークショップ Research Exchange

財務省におけるASEAN 諸国の現状と政策等に対する認識を深めるために、2016年からASEANワークショップを開催しています。

ASEAN ワークショップ

2022年11月8日(第7期 第1回)

- 「ウクライナ情勢や新興国の資金フローから見るASEANのマクロ経済リスク」
- 「ASEANを取り巻くサプライチェーンの変化」
- 「ASEANの金融包摂と金融デジタル化」

2023年2月28日(第7期 第2回)

- 「ASEANにおけるグリーンファイナンスの動向と注目点」
- 「アジアのメガ都市とインフォーマル経済: タイの事例から」

2023年5月17日(第7期 第3回)

- 「最近の直接投資にみるASEANの産業動向」
- 「ASEANにおける金融デジタル化・貿易デジタル化」



研究交流

客員研究員制度／実務研究員制度

Research Exchange

客員研究員制度及び実務研究員制度は、各国の政府職員や研究者等を財務総研に所属する研究員として受入れ、特定のテーマに関する研究を委嘱する制度です。

客員研究員制度は、(1) 開発途上国の経済情勢の現状に関して専門的知識を有する先進国の研究者等又は、(2) 日本の財政経済政策について学ぶことを希望する開発途上国の研究者等を受入れ、研究を委嘱するためのプログラムです。

実務研究員制度は、(1) 開発途上国の財務省や中央銀行の職員等を受入れ、財政・経済分野における専門知識、技術の移転を行うとともに、開発途上国の関係当局との情報交換を行い交流を深める、又は、(2) 開発途上国の経済情勢の現状に関して専門知識を有する先進国の実務家等を受入れ、今後の日本のODA政策に役立つ研究を委嘱するためのプログラムです。

いずれの制度でも、委嘱を受けた研究員は、研究成果を取りまとめた論文を作成・提出するとともに、ワークショップにおいて発表することが義務付けられています。提出された論文は、財務総研のプロジェクトの重要なリソースとして活用されています。

最近の受入れ実績(2017年4月～2019年3月)

※ 新型コロナウイルスの影響により2020年度から2022年度まで一時的に受け入れを停止。2023年度より受入再開。

氏名 スウエ・ジン・マウ
ミャンマー計画財務工業省予算局課長補佐
テーマ 「ミャンマーの持続可能な財政発展のための公共財政管理改革について」

氏名 シバイ・ピライハン
ラオス財務省財政政策局課長
テーマ 「ラオスにおける歳入流動性の強化について」

氏名 シャムシャッド・アーマド・カーン
デリー大学 社会科学部東洋学科 准教授
テーマ 「日印の経済協力の可能性や将来性、展望」

氏名 グエン・ティ・トゥイ
ベトナム財務省財政研究所(NIF)財政政策課研究員
テーマ 「ASEAN 諸国における財政の持続可能性：パネルデータ分析に基づく検証」

氏名 ビリナ・シサド
ラオス財務省歳入歳出政策課課長補佐
テーマ 「ラオスにおける政府支出の効率化」

氏名 サン・ティダ
ミャンマー計画財務省予算局課長補佐
テーマ 「ミャンマーにおける公的財政管理の強化」

氏名 ドウアングチェイ・ケオミクセイ
ラオス財務省財政政策局課長補佐
テーマ 「ラオスにおける付加価値税：将来に向けたアジェンダ」

氏名 デイルシヨド・ヌリロピッチ・ムロドブ
ウズベキスタン BFA 首席講師
テーマ 「成長率の変動とインフレの不確実性：東アジア諸国経済からの実証」

氏名 スパヌン・チュムジャイ
タイ財務省財政政策局エコノミスト
テーマ 「人口高齢化するタイにおける持続可能な医療・年金制度のための財政政策：日本の事例研究」